

## 【速報】今年度都立高校入試変更点について

先日、今年度の都立高校入試につきまして、概要が発表されました。  
変更点は以下のとおりになっております。

### 概況

来春 23 年度の都立入試要項が発表となった。制度的な大きな改編はなく、各高校の入試形態の変更も例年に比べて、少ない年度となったといえる。推薦についても昨年度とほぼ同じ状態である。

昨年度から話題に上っていた推薦制度については選抜の趣旨を踏まえて、求める生徒像を明確にし、実施する検査の改善を図り、推薦入学者の入学後の学習状況の調査を継続して実施することをあらためて掲げている。来春については大きな変更はないが、推薦についての検証や検討は続く。

### 変更点（大田区近辺のみ）

#### ・推薦入試

推薦枠を縮小する学校...新宿（30% 20%）、六郷工科（デュアルシステム）（50% 40%）

推薦入試に小論文を導入...日比谷、小山台、新宿（作文）、青山、両国

#### ・一般入試

試験科目、配分の変更...日本橋（5：5 6：4、3科 5科、面接はなし）

後期分割募集の実施...八潮、六郷工科（デュアルシステム）

#### ・自己PRカードについて

自己PRカードは、これまで推薦・一般入試とも出願時に提出していたが、来春は面接を実施しない学校については合格決定後、合格者が高校へ提出することになる。また、様式は「将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について記入できる欄」が追加され、「志望理由」「中学校生活で得たこと」と合わせ3項目となる。